

ちいきそうぞう



第4号

2008.12.19

主な内容

就任のごあいさつ 理事長 藤原 俊雄…… 1
にいがた地域創造センターのご活躍に感謝します
新潟県土木部長 野澤英之助…… 2
新潟県土木部長から礼状
企画部長 小野塚真一…… 2

退任にあたって 前理事長 松井 進…… 3
活動状況報告…… 4
役員の改選…… 5
平成20年度河川情報モニター活動状況 …… 6



就任のごあいさつ

理事長 藤原 俊雄

年内余日少なく厳しい寒さがひとしお身にしみる季節となりましたが、会員皆様方には日頃のご活躍に深く敬意を表します。

この度、理事会に於いて理事長のご推挙をいただきました。もとより非力で松井前理事長のような訳にはまいりませんが、精一杯任に当たる所存ですので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

おかげさまで、当センターのボランティア活動も皆様方のお力で着実に実績を積み上げることができ、その上高い評価も頂きうれしく思っています。

さて、今年になってから、これまでとは異なる大きな変化のうねりを感じているのは私だけでしょうか。アメリカの金融危機から発した株価の暴落に世界不況。ただ殺すことのみを目的にした無差別殺人事件の多発化。食品の産地偽装の発覚や客の食べ残しの使い回し。相次いで辞任した与党党首の不透明な辞任理由。公共事業費の底の見えない慢性的な削減と、競争激化による建設関連企業倒産の多発。社保庁を中心とした公務員の信頼低下。更に年末に入ってから派遣社員の大量解雇や新卒の内定取り消しなどなど。

このような変化の激しい時代に、私たちが如何に生きてゆくかは大きな課題であると思っています。避けても生きる事はできますが、私は積極的に社会に参加し、自ら働きかけ、係わりを持った方が世の中の変化を直接感じる事ができ、『生きている』という実感があるのではないのでしょうか。

ボランティアと言うと『素人集団』のイメージもありますが、専門的な知識や技能を活かしたプロフェッショナルボランティア、略して『プロボラ』が普及しつつあると言われています。当センターの活動も、土木工学の専門知識を活かした『プロボラ』ですが、その対象は、自然豊かな『故郷の地新潟』であり、故郷への愛情がボランティア活動の原点となっています。新年から始まるNHK大河ドラマ『天地人』の主人公、直江兼続は兜に『愛』の字を前立としています。兼続も故郷の地を誰よりも愛していたことは、直江石堤や幾多の用水路、堀の開削、植林・造林など、土木施設の遺構や遺跡が物語っています。兼続の『故郷新潟への愛』の心が、私たち新潟の故郷を愛する当センターのボランティア活動に、さらなる鋭気と活力を与えてくれることを、大いに期待し就任のご挨拶と致します。



にいがた地域創造センターのご活躍に感謝します

新潟県土木部長 野澤英之助

特定非営利活動法人にいがた地域創造センターの皆様におかれましては、日ごろから本県の土木行政の推進にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

特に昨年度発生しました中越沖地震の際には、被災状況の把握等についてご協力をいただき、ここに改めて御礼申し上げます。

皆様からのご協力のおかげをもちまして本県の公共土木施設の復旧関係工事は順調に進み、中越沖地震発生から1年余が経過した現在、国道352号のトンネルの改良復旧事業を除き、今年度中に全てが完了する見込みとなっております。被災地域の早期復興のため、残る工事につきましても、引き続き鋭意努力していきたいと考えております。

また、併せて貴センターの皆様からご協力いただいております「河川情報モニター」による河川巡視点検では、全県下においてのべ500名の会員の方々から活動していただいていると伺っております。その成果は、洪水時の初動対応やその後の災害査定の円滑化のために大きな役割を果たしております。これらのご協力について重ねて感謝申し上げますとともに、今後も当モニター制度のより効果的な活用に取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

さて近年、全国各地で多発する地震やゲリラ豪雨等、災害対応をとりまく環境は一段と厳しい状況となってまいりました。そのような中、幾度の大規模災害を経験してきた本県におきましては、過去の教訓を踏まえながら、県民の皆様が安全で安心して暮らせるよう、「災害に強いふるさとづくり」を目指して、ハード・ソフトの両面からの総合的な防災対策に重点的に取り組んでいるところであります。

引き続き災害に強い県土づくりのため、職員一同最善をつくしてまいりますので、今後とも皆様のお力添えをお願いするとともに、貴センター並びに会員の皆様のますますのご活躍、ご発展を心から祈念しまして挨拶といたします。

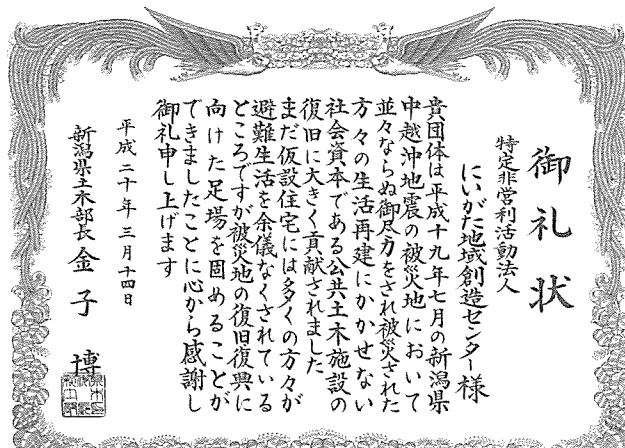
新潟県土木部長から礼状

企画部長 小野塚眞一

平成19年7月16日（月）（海の日・祝日）10時13分 震度6強の「新潟県・中越沖地震」が発生しました。一週間後の7月23日に新潟県から当センターに対し支援要請があり、これを受け、7月25日から8月1日までの間、県管理の道路・河川の被害状況及び被災家屋の道路交通に及ぼす影響等について、延べ51名の会員で現地調査をしました。この事に対して、平成19年11月6日に新潟県泉田知事から感謝状を、更に平成20年3月14日、金子博・新潟県土木部長から当センターへ礼状の贈呈式があり、松井理事長が出席し頂いて参りました。



礼状を受け取る松井理事長



礼状贈呈式の終了後に、同会場で、災害対応に関する意見交換会が開催されました。

出席者は、新潟県土木部から、金子博士木部長、今井一之都市局長、山岸潔土木部技監、桜井優土木部副部長の4名、復旧協力団体から、水倉新潟県建設業協会副会長、植木新潟県建設業協会柏崎支部長、花市建設コンサルタンツ協会北陸支部長、村尾新潟県地質調査業協会理事長、茨木新潟県測量設計業協会理事長の5名の計9名で行われました。司会進行は、発注者側でも、受注者側でも無い、第三者的立場の当センターで引受ける事となり、企画部長の小野塚が務めました。

短い時間ではありましたが、それぞれの立場から、「中越沖地震」の災害対応に当たったの苦労話や工夫した点など、又、平成16年の「中越大震災」での経験が大変に役立った事など、活発な意見交換がなされました。併せて、今後の災害対応に向けて、県側に要望する点なども出され、有意義な意見交換となりました。

意見交換会の終了後、会場を駅前の「ウエルシティー新潟」に移し、当センターの主催で猪股事務局長の司会のもと、「懇談会」が開催されました。出席者は、県土木部から金子土木部長をはじめ土木部各課、関係地域整備部から22名、復旧協力団体からは、17名、当センターからは、松井理事長のほか理事6名の計39名が集い、松井理事長の挨拶に始まり、和やかな懇談と意見交換の場となりました。



意見交換会の様子



退任にあたって

前理事長（現・顧問） 松井 進

会員の皆様におかれましては、常日頃より当協会の運営には献身的なご協力を賜り心より感謝申し上げます、平成15年10月に設立、5年を経過し法人の運営は順調に経過しております。これを機会に設立以来務めました理事長を退任し、若く行動力のある藤原さんに理事長をバトンタッチしたいと思います。

当時、島原土木部長よりNPOの必要性についてのアドバイスをもとに、発起人会を立ち上げ、規約の制定、登記手続き、会員並びに賛助会員募集など五十嵐英輝さん、猪股弘治さんを始めスタッフと共にした設立時の苦労が昨日のように思い出されます。

特に、猪股さんにおかれては無給で事務局長を引き受けていただき、法人の運営に設立当初より大変お世話になっており、改めて感謝申し上げます。

中立、公平の立場で会員の技術、経験を活かして、安全、安心、快適な地域を創造するため、諸活動に参加すると共に、災害支援など土木行政がスムーズに遂行される事を目的とした当法人の活動が、翌年の平成16年長岡、三条の豪雨災害、中越大震災、また平成19年の中越沖地震、河川情報モニターの受託など支援活動の場がこんなに早く到来するとは想像だにしませんでした。これらの活動が高く評価され、知事表彰、部長・局長からの感謝状などを受ける事ができました。これも会員各位の協力の賜と感謝申し上げます。

建設関連をとりまく環境は、ますます厳しさを増し会員各位のご苦労は大変ですが、理事長を中心に当法人の益々のご発展を祈念し退任の挨拶といたします。長い間のご協力有り難うございました。

活動状況報告

(平成19年11月～平成20年10月まで)

■ 平成19年

- 11月6日 新潟県中越沖地震感謝状(泉田知事)
贈呈式
松井理事長出席
(県庁西回廊講堂)
- 11月12日 河川情報モニターにかかわる
アンケート調査
- 11月29日 第11回理事・監事会 16名
・平成19年度総会について
・中越沖地震の応援対応について
(県建設技術センター)
- 12月14日 第12回理事・監事会 17名
・平成19年度総会について
(新潟東映ホテル)
- 平成19年度通常総会
会員120名参加
・平成18年度事業報告及び収支決算の承認
・平成19年度事業計画及び収支予算(案) (新潟東映ホテル)
- 講演会及び懇親会
講師：金子土木部長
演題：最近の土木行政について
(新潟東映ホテル)

■ 平成20年

- 3月14日 新潟県中越沖地震復旧団体への
礼状贈呈式(新潟県土木部長)
松井理事長・猪股事務局長出席
(県庁)
- 復旧団体の代表者と県土木部幹部との
意見交換会
松井理事長出席
司会 小野塚企画部長
(県庁)
- 新潟県中越沖地震災害対応懇談会
(NPO法人主催)
松井理事長以下7名参加
(ウエルシティ新潟)
- 4月1日 平成20年度
河川情報モニター活動開始
- 4月22日 第13回理事・監事会 18名
・平成20年度総会の日時・場所について

- ・任期満了にともなう役員の改選について
- ・県建設技術協会特別正会員部の受託契約

(県建設技術センター)

- 5月30日 平成20年度
「第1回けんせつセミナー2008」へ
講師派遣(県建設技術センター主催)
講師：西片喜章会員
講義名：災害復旧
(県建設技術センター)
- 6月12日 (社)全国防災協会・
平成20年度通常総会
松井理事長出席
(新潟ユニゾンプラザ)
- 6月30日 事務局 吉田 敦さん退職
- 7月1日 事務局
齋藤文十郎さん採用



- 7月16日 新潟県中越沖地震一周年合同追悼式
松井理事長出席
(柏崎市・市民プラザ)



- 7月30日～8月13日
登録有形文化財
「万内川砂防堰堤群・
日影沢床固工群」パ
ネル展
上越地区会員20名
入場者数計 1002名



(道の駅・あらいくびきの情報館)

- 8月1日 第5回万内川砂防公園(草刈)整備
上越地区会員 25名



- 9月18日 第14回理事・監事会 17名
・平成20年度総会について
・任期満了に伴う役員改選について
(新潟東映ホテル)
- 9月30日 平成20年度
河川情報モニター活動終了
会員139名参加(延べ500名)
- 10月27日 北陸地区治水大会
野崎監事出席(新潟グランドホテル)

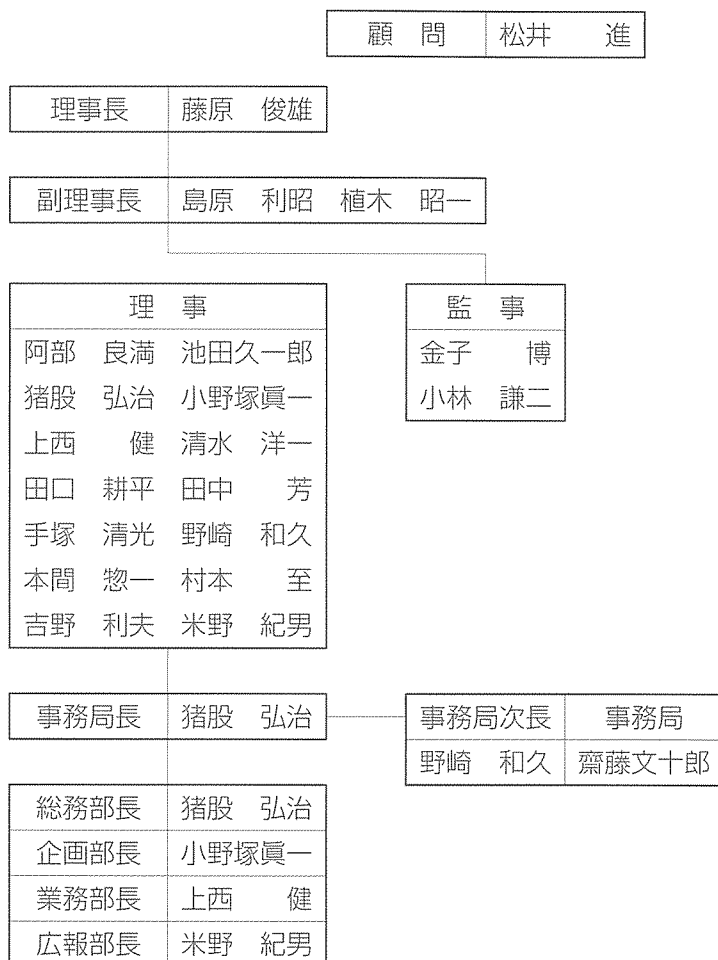
役員の改選

平成20年9月18日に開催された第14回理事・監事会で当NPO法人の役員は下記のとおり改選されました。（前理事長の松井進さんには新たに「顧問」をお願いする事になりました。）

任期は2年（平成22年度の通常総会まで）です。

なお、河川情報モニターの地区担当を別載のとおりお願いさせていただきました。

◆組 織 図（理事17／監事2）



◎河川情報モニター

地 域 名	地域担当主任	地域担当副任
村 上 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	佐 藤 靖	米 野 紀 男
新 発 田 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	竹 内 隆 良	森 田 幸 作
新 潟 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	植 木 昭 一	上 田 茂 樹
// //	西 片 喜 章	
// //	桑 原 始	伊 藤 靖
新 津 地 域 整 備 部		
// //	佐 藤 起 一	
三 条 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	村 山 和 弘	
長 岡 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部		
// //	吉 野 利 夫	清 水 洋 一
// //		
魚 沼 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	磯 部 剛	菰 沢 伸 昌
南 魚 沼 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	勝 又 計 雄	山 口 憲 夫
十 日 町 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	田 口 耕 平	中 町 和 男
柏 崎 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	赤 堀 洋 一	関 矢 勝 広
上 越 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部		
糸 魚 川 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	村 本 至	田 中 芳
佐 渡 地 域 振 興 局 地 域 整 備 部	矢 邊 政 廣	佐 々 木 敏 和

会員の動向

〈会員数〉

会員区分		設立総会時 H15.6月	平成16年度 H16.11月	平成17年度 H17.11月	平成18年度 H18.11月	平成19年度 H19.11月	平成20年度 H20.11月
正 会 員		164	204	220	252	275	285
賛助会員	個人	—	6	3	2	2	1
	法人	—	209	207	205	182	174
計		164	419	430	459	459	460

平成20年度(4月～9月)河川情報モニター活動状況

地域機関名	県指定河川数	県指定河川延長(km)	NPO配置人員	4月～9月(延)NPO実施人員
村 上	10	13.5	3	12
新 発 田	2	12.6	8	30
新 津	22	90.3	22	91
津 川	4	13	3	10
新 潟	5	27	11	12
巻	7	82.7	10	44
三 条	12	51.3	8	38
長 岡	10	63	22	83
与 板	3	24.5		
小 千 谷	8	21.9		
魚 沼	2	16	3	12
十 日 町	6	27	7	26
南 魚 沼	2	21.6	6	16
柏 崎	3	27	6	24
上 越	9	69.9	15	54
上 越 東				
糸 魚 川	6	9.7	8	26
佐 渡	9	25.6	7	22
計	120(116)	575.8	139	500

参加者139名の活動内訳

6回参加	2名
5回 //	20名
4回 //	75名
3回 //	18名
2回 //	10名
1回 //	14名
計	139名

地区別実施河川一覧

1 村 上	烏川・長津川・山田川・小谷川・関口沢内川・前ノ川・石川・百川 笛吹川
2 新発田	加治川・胎内川
3 新 津	覚路津大通川・東大通川・荻管根川・宮古川・後田川・辻川・牧川 能代川・城の入川・薄谷川・五部一川・派川能代川・太田川・尾白川 新江川・三兵衛川・大沢川・風越川・仙見川・早出川・杉川・高石川
4 津 川	中ノ沢川・谷沢川・綱木川・馬取川
5 新 潟	新井郷川分水路・派川新井郷川分水路・福島潟・大通川・西川
6 巻	大通川・西川・矢川・飛落川・木山川
7 三 条	五社川・下条川・布施谷川・貝喰川・矢川・鹿熊川・新通川・島田川 大平川・大谷川・高柳川・日瑞川
8 長 岡	刈谷田川・稚児清水川・中之島川・猿橋川・山北川・栖吉川・太田川 浄土川・道満川・渋海川
9 与 板	黒川・黒川流末川・島崎川
10 小千谷	朝日川・法師ヶ沢川・茶郷川・米沢川・表沢川・湯殿川・大平沢川 相川川
11 魚 沼(小出)	羽根川・西川
12 十日町	渋海川・羽根川・飛渡川・入間川・七川・当間川・田川
13 南魚沼(伏見町)	十二沢川・魚野川
14 柏 崎	鯖石川・鶴川・別山川
15 上越・上越東	関川・保倉川(上越)・飯田川・矢代川・別所川・柿崎川・吉川 桑取川・櫛池川・保倉川(上越東)
16 糸魚川	海川・田海川・青海川・早川・能生川・筒石川
17 佐 渡	国府川・藤津川・小倉川・中津川・新保川・大野川・長谷川 地持院川・石田川

編集後記

年一回の機関誌、一年間の早さを改めて感じている
この頃です。

記録性を重視して発行してきましたが、そろそろ一
般向けのPR誌等、理事会の意見を参考に次のステッ
プも検討したいと思っています。(Y)



特定非営利活動法人(NPO法人)
にいがた地域創造センター

理事長 藤原 俊雄

〒950-1101 新潟市西区山田2522-18
(財)新潟県建設技術センター内3階
TEL/FAX (025)267-4877